

高千穂の棚田はなぜ美しい？

宮崎大学農学部森林緑地環境科学科 竹下伸一

1. はじめに

2015年に認定された高千穂郷・椎葉山地域の世界農業遺産。この地域で築かれたあたりまえの生活スタイル（山間地農林業複合システム）は、いつしか世界的に貴重なものとなっていた。他の地域では珍しいが、高千穂ではあたりまえのものがたくさんある。その中の一つが美しい棚田の風景である。高千穂を訪れた多くの人々が、棚田の美しさに足を止め写真を撮っていく。人々はなぜ高千穂の棚田を美しいと感じるのか、一緒に考えてみたい。

2. 風景の輪郭

高千穂の棚田を象徴する風景の一つは天岩戸神社へと向かう県道7号からの眺めだろう。

風景の感じ方は人によって様々である。しかし、同時に大半の人に同じように心地よさ、美しさを感じさせる風景があるのもまた真実だ。そこには多くの人に共通する美しさの基準が見え隠れする。風景の輪郭を作っているのは地形である。とくに高千穂では山、川、そして人々の生活の場である台地のダイナミックな変化が、人々に美的満足感を与えている。

大崩山を形作った1400万年前のフィリピン海プレートの衝突によって誕生した高い山と深い溪谷、そして12万年前と9万年前の阿蘇の噴火がもたらした火砕流台地。この台地上に立っていることが、高い山並みに圧迫感を覚えることなく、開放的な気持ちをもたらしている。独特の地形のダイナミズムが、高千穂の風景の輪郭なのである。

3. 自然と人の手の調和

私たちは時に、風景から「表情」を持った働きかけを受け取る。自然地理の条件を素直に生かしつつ、自然の地勢を相手に厳しい対応をしながら長い時間をかけて居住環境を形成してきた祖先の



図1 天岩戸神社へ向かう車窓からの眺め

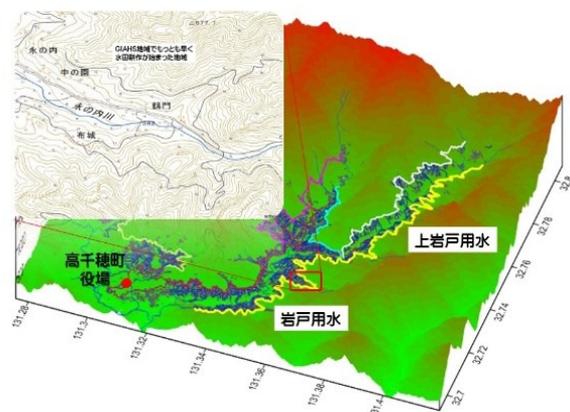


図2 中の園地区と岩戸用水の位置

営みを、風景から感じ取る。高千穂に広がる棚田から、私たちは心地よさを感じているのだ。この棚田はいつ生まれたのか。

江戸時代前期まではほとんど水田はなく、いまとは違った風景が広がっていた。今のような棚田が広がる風景の原形は、1615年(元和元年)の岩戸村の中の園(図2)に生まれた。飲料水を確保するために永の内川から水路を引いたのだが、思いのほか水量が豊富だった。そこでこれを利用して稲作をはじめたところ美味しい米が獲れた。それを見た近隣の村々も水路を開削し、開田され江戸中期から徐々に各地に棚田が誕生した。

しかし、この地域の開田は簡単ではなかった。なぜならば、水源が近くになかったからである。それでも米を作りたいと願った先祖達は、長い山腹用水路を開削した。その想いの強さは様々な数字の中に現れてくる。たとえば表1にある1つの水路が潤す水田の広さ(受益面積)は他の地域に比べて格段に狭く(値が小さく)、その水路の効率(面積水路長)とても悪い(値が大きいく)。

けれどもこの山腹用水路があるおかげで、日光が降り注ぐ台地の上に稲穂が揺れる、美しい高千穂の風景がいまここにある。風景はいつの間にかそこにあるのではなく、生活の記録そのものなのである。

4. 高千穂の美しさを支えるもの

中の園の水路は、いまも岩戸用水として存在し、水を流し続けている。高千穂には至る所に棚田がある。その棚田のすべてに、遠くの水源地から水を届ける山腹用水路がある。そして、そのすべての山腹用水路に、それを守り続ける人々の姿がある。水路を歩くと、いつも人の息吹を感じる。

イギリスのアップルトンという地理学者が、「景観の経験」(1975)という本の中でこう述べている。「人が風景(環境)から美的満足感を受け取るのは、その環境が棲息するのに適した場所であることを象徴的に表現しているからだ」と。

表1 高千穂の山腹用水路の特徴を示す数値

用水路	水路延長(m)	受益面積(ha)	面積水路長(m/10a)
東岸寺	5,530	29.4	18.8
神之水	6,300	28.7	22.0
三田井	11,238	42.9	26.2
岩戸	24,530	82.0	29.9
小又川	2,500	7.7	32.5
浜之瀬	8,000	24.0	33.3
下野	9,000	25.7	35.0
高千穂	36,500	93.6	39.0
押方	9,800	24.8	39.6
上寺	8,700	19.8	43.9
黒口	7,900	17.4	45.4
南平	12,000	24.3	49.4
徳別当	4,500	8.8	51.2
縦崎	8,007	15.6	51.3
日向	9,700	17.7	54.8
三原尾野	4,000	6.5	61.5
上岩戸	10,000	15.9	62.9
向山	13,815	16.7	82.7
平均値	10,668	27.9	43.3
岩熊(延岡)	8,698	735.3	1.2
杉安(西都)	9,414	540.0	1.7
前田(都城)	7,045	219.3	3.2
松井(清武)	11,000	224.0	4.9
平均値	9,039	429.7	2.8



図3 岩戸用水の流れ